2011年1月17日　東京女子大学「マイライフマイライブラリー公開実績報告会」

マイライフ・マイライブラリー
高等教育変容への期待

「マイライフ・マイライブラリー」外部評価委員長

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授

筑波大学情報学群知識情報・図書館学類

筑波大学附属図書館副館長

筑波大学附属図書館研究開発室室長

逸村裕（いつむら　ひろし）

1.はじめに
2.高等教育の変容
3.いま学生は
4.筑波大学知識情報・図書館学類での実態
5.春日ラーニングコモンズの活動
6.外部評価委員長として

(1)少子化×ユニバーサル化　18歳人口と進学率

1966	249万人	19%	
1976	154	37%	
1986	185	33%	
1992	205	37%	
2000	151	48%	
2009	121	56%	四年制50%　短大6%
2010	120	59%	
2027	109		

(2)社会の変化と高等教育

従来モデルの崩壊
- 就職難
- 海外留学減少
- 就職直後の帰属意識の低さ
- ポスドク

いろいろある
良いことだってある

(3)国際化

外国人留学生増加
1983　　約1万人
「21世紀の留学生政策懇談会」
　21世紀初頭に十万人の留学生を受け入れる
1993年　5万人
2003年　11万人
2010年　14万人（前年比8,600人）

グローバルCOE

学習活動活性化へ

『学士課程教育の構築に向けて』(中教審答申　2010年12月)

学士力：課題解決能力の重視

単位制度の実質化：事前、事後学習の重視

教育方法の改善

初年次における教育の配慮

大学にとって学習活動の活性化が課題

(4)情報技術の進展

弛まぬ情報技術の刷新

(5)日本のラーニングコモンズ

約100大学が設置あるいは設置予定

- ネットワーク接続環境
- コンピュータ機器提供
- 学生利用が中心
- お喋り可
- 飲食不可

日本のラーニングコモンズ

×情報通信技術支援
×教材作成支援
×ヘルプデスク
×他部署との連携
×授業との連携
×ニーズ把握
×利用調査
×学生スタッフ
×目的の成文化

日本のラーニングコモンズ

単なる空間提供が多い

- グループ学習室
- コンピュータ・クラスター
- ラウンジなどのくつろぎ空間

→利用者のニーズに合致している
図書館員の存在（人的支援）は？
大学全体の中での位置づけ
図書館機能は何？

3.いま、学生は？

(1)入試の多様化
(2)学力
(3)さまざまなレッテル貼り

いまどきの学生
大学に関してのさまざまな言及

(1)入試の多様化　『大学の実力　読売新聞』

私立大学　　一般入試以外の入学者計46%
16%　　指定校推薦
10%　　公募制推薦
　8%　　AO
　5%　　付属・系列校推薦
44%　　一般入試

大学入学時に十分な学力が備わっているか？

(2)学力

大学で学ぶ前提としの学力とは

(3)さまざまなレッテル貼り

ゆとり

ケータイ

デジタルネイティブ

デジタルネイティブ

A digital native is a person for whom digital technologies already existed when they were born, and hence has grown up with digital technology such as computers, the Internet, mobile phones and MP3s.

現在の学生は物心ついた時からインターネット、携帯電話、動画、電子情報源を用いた環境にいる、いわゆるデジタルネイティブである。

デジタルイミグラント（移民）

A digital immigrant is an individual who grew up without digital technology and adopted it later.

対して、成長してから、デジタル技術に習熟したものをデジタルイミグラントと呼ぶことがある。

- ブログ、SNS、動画共有サイトのようなソーシャル・メディアやクラウドコンピューティングさらにTwitter、Ustreamと次々に現れる情報通信技術を使いこなす若者を世代論と結びつけて多様な呼び名が存在する。

2000年世代(millennials)、76世代、86世代、デジタルネイティブ第1世代/第2世代、ネオデジタルメィティブ

デジタルネイティブの特性

a.PCリテラシーは高い

b.書くのにはPCが便利

c.インターネット＝PCである

d.ノートPCは画面が小さくて不便

e.テレビを話題にしなくなった

デジタルネイティブの特性

a.PCリテラシーは高い
b.書くのにはPCが便利
c.インターネット＝PCである
d.ノートPCは画面が小さくて不便
e.テレビを話題にしなくなった
f.動画とは見るもの

デジタルネイティブの特性として〇がつくのは？

実態を把握する

学生動向

a.教科「情報」
Word Excel Power point HTML
情報倫理 著作権 ネット犯罪
プログラミング
Google認知は100％

学生動向

b. Digital natives？

携帯電話　全員が持っている
ブログ ほぼ全員が知っている IDを持っているのは20%
mixi　９割が知っている　IDを持っているのは30%
Twitter ７割が知っている　IDを持っているのは15%
Facebook 15%が知っている IDを持っているのは 1%

授業（ゼミ中）のTwitter使用

学生動向

c.ウィキペディアについて

全員が知っている
知らないものを調べる
小説やドラマの設定を調べる

学生動向

サーチエンジンにヒットしない
ものは存在しない

学生動向

なぜOPACはサーチエンジンのように使えないのか？！

↓↑

OPACは図書所蔵単純検索でいい

学生の意見を聴く

学生は何を考えているのか？

図書館を利用しない理由

教科書・配布資料・WWW資料で十分
貸出とコピーで済む
行く暇がない（バイト、サークル）
そもそも勉強／学習をしない？

電子ジャーナルとネット情報源で十分
自宅（研究室）の方が作業環境good!

専用PC、大ディスプレイ、飲食自由、散らかってても・・・

図書館を利用する理由

電子化されていない資料の利用
館外持ち出し不可の資料を使う作業
レポート作成
新聞・一般雑誌を読む
居心地がいい
ソファ使用
涼しい/暖かい
待ち合わせ

利用する二つの理由

必要に迫られて利用する
　必要な資料がそこにしかない
　他に作業をする環境がない
　　利用が多い≠良い図書館

行きたい図書館だから利用する
　居心地がいい、「なんとなく」行く気になる
　選択肢の中から選ばれる図書館
　　利用が多い＝良い図書館

筑波大学情報学群
知識情報・図書館学類カリキュラム

1年生1学期　情報基礎実習

電子メールの書き方から文献管理ソフトまで

plagiarism

筑波大学情報学群
知識情報・図書館学類カリキュラム

1年生2学期　プログラミング演習
Ruby

筑波大学情報学群
知識情報・図書館学類カリキュラム

2年生1～3学期　知識情報演習

OPAC

パスファインダー

サーチエンジン

筑波大学情報学群
知識情報・図書館学類カリキュラム

3年生1～2学期

３主専攻実習に配属

知識科学主専攻

知識情報システム主専攻

情報経営・図書館主専攻

筑波大学情報学群
知識情報・図書館学類カリキュラム

3年生3学期～

卒業研究（必修）

ゼミに配属され、卒論を書く

筑波大学情報学群
知識情報・図書館学類カリキュラム

4年生1～2学期　知識情報特論

水曜3限（1215～1330）
教員・外部講師により最先端の話を
授業メモを提出させる
研究室活動中心の学生全員を集める
事前予告なし/配布資料なし

春日ラーニングコモンズ（KLC)

2008.5設置

空き教室使用　1500-2000

TA+上級生がチュータ

授業サポート

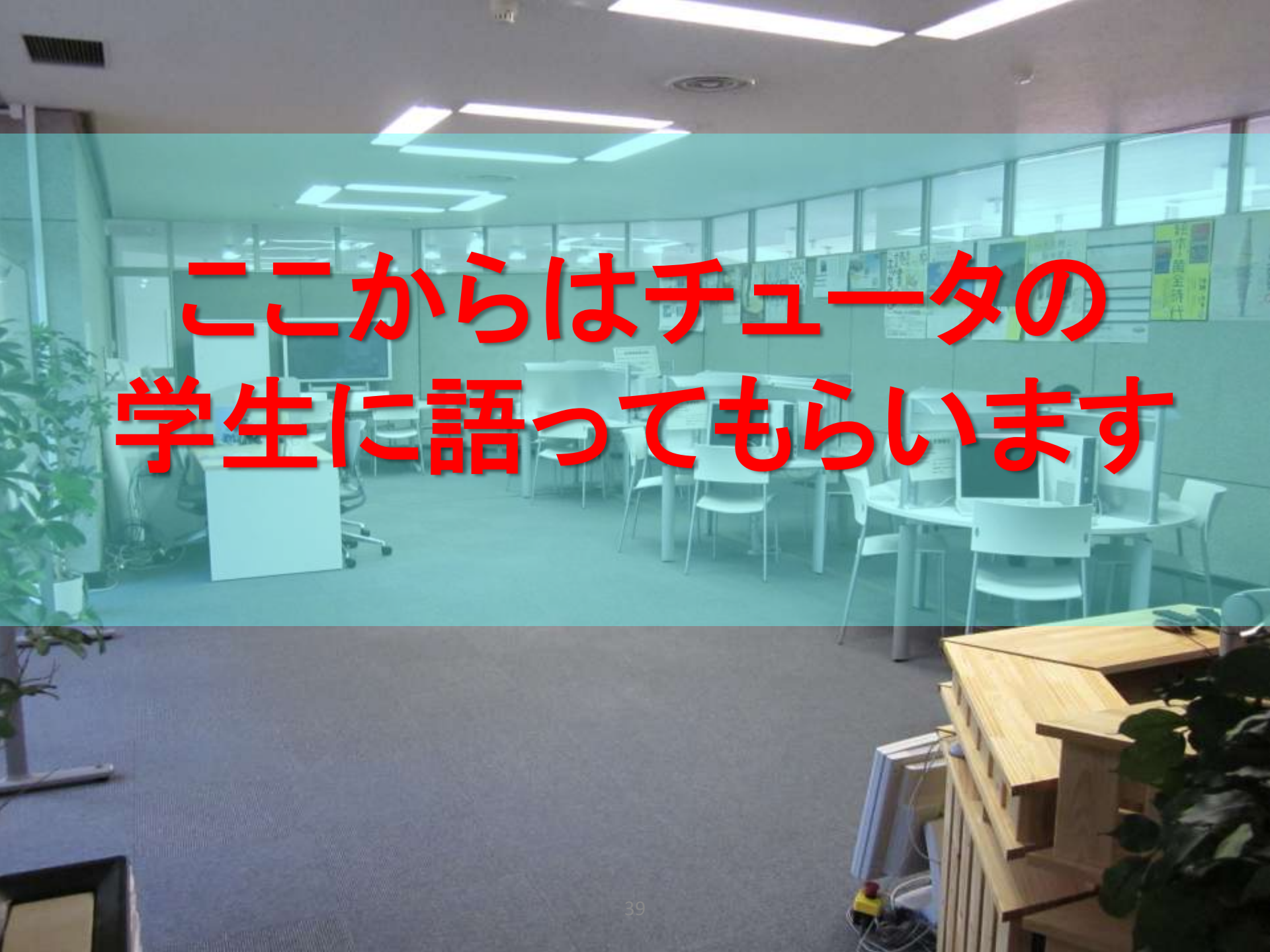
PC2台

春日ラーニングコモンズ（KLC)

2009.4
他の空き教室へ移動
TA+上級生がチューター
授業サポート

春日ラーニングコモンズ（KLC)

2010.4.
図書館情報学図書館の入口に設置
授業サポート
上級生チューター
学生主体の運営
Twitter、Ustream等の積極的な利用


ここからはチューータの
学生に語ってもらいます

外部評価委員長として

「マイライフ・マイライブラリー」は成功していると言える

成功の要因　1

大学のミッションとの連動

目的は明快であり、東京女子大学としての立ち位置に即した内容を備えている。特に、日々進化を続けている姿勢が好ましい。

成功の要因　２

１階において、外から学生が学んでいる姿を見ることができる効果は大きい。また図書館内から見える景色にも配慮が払われていることは、文化的な雰囲気を多いに高めていると評価できる。

成功の要因　３

学習コンシェルジェ、システム・サポーター、サポーター、ボランティア・スタッフと称される「学生アシスタント」による、マイライフ・マイライブラリでの役割は、アクティブである、と評価でき、また今後、いっそうの発展が期待できる。経費の確保、運営方針のあり方、ミーティングの持ち方、モチベーションの高め方等、課題は多いが、学生自身の成長を含めて今後の一層の発展を期待したい。

成功の要因４

学風・学生気質に図書館が積極的に対応して、学生の勉学をサポートしてくれている。伝統の維持・発展に図書館が大いに貢献している。

勉強を自宅ですることが少なくなっている状況、学生を大学に登校させることが重要になっている現在においては、このような滞在型図書館は非常に有意義である。

成功の要因５

学生は他の学生に教えることで伸びていく。
それを巧みに取り込んだ優れたシステム。

成功の要因６

大学は「教育」の場でもあるが、「自ら学ぶ支援の場」ともとらえれば、図書館機能に求めることが何か焦点も定まる。

まとめ

学生は多様である。
「学生に望まれる学習サポート」とは。
ただ望まれているものだけではダメ。
高校と大学の学習の違い。
研究がついて回る大学を意識させる。

外部評価委員長として

「マイライフ・マイライブラリー」は成功していると言える。

しかし今日の成功は明日の成功を保証しないのが現代。